

王子駅周辺のまちづくり

事業名	予算額
王子駅周辺のまちづくり	86,485千円

ここがポイント！

- 👍 王子共創会議を中心に、新庁舎建設と連携する駅周辺まちづくりを力強く推進
- 👍 「エリアプラットフォーム」を通じて、多様な主体が連携した公民連携のまちづくりに取り組む

事業概要



- ▷ 令和4年度に策定した「王子駅周辺まちづくりガイドライン」に基づき、新庁舎周辺の交通ネットワークなどの主要な都市基盤の設計等を行うとともに、関係機関等と協議を行いながら、都市計画決定に向けた検討を進める。
- ▷ 王子駅周辺の関係者を一同に集めた「王子共創会議」で、各事業の進捗を確認しながらまちづくりの計画策定等について協議を行う。
- ▷ 地域の課題解決や魅力向上を目的とした「エリアプラットフォーム」を通じて、まちづくりを担う様々な主体が連携・情報共有し、情報発信やイベント、公共空間の活用などまちづくりの実践等を行う。

【担当】

都市拠点デザイン担当課長

電話 03-3908-7186

鉄道駅関連プロジェクト担当課長

電話 03-3908-1242

東十条駅周辺のまちづくり

事業名	予算額
東十条駅周辺のまちづくり	41,547千円

ここがポイント！

- 👍 公民連携による検討会で、「東十条駅周辺まちづくりガイドライン」を策定
- 👍 ガイドラインに基づき、東十条駅南口における広場空間の検討に着手

事業概要

▷ 十条跨線橋の架替や駅前空間の整備、土地利用の方針等を始めとする東十条駅周辺におけるまちづくりを推進するため、学識経験者、関係行政機関、地元関係諸団体代表、関係事業者等からなる検討会で、引き続き「東十条駅周辺まちづくりガイドライン」の策定を進めるとともに、南口における広場空間の検討調査に着手する。



【担当】
 鉄道駅関連プロジェクト担当課長
 電話 03-3908-1242
 都市拠点デザイン担当課長
 電話 03-3908-7186

新規事業

田端駅周辺のまちづくり

事業名	予算額
田端駅周辺のまちづくり	71,076千円

ここがポイント！

- ☛ 田端駅北口周辺と高台側との高低差によるバリアを解消するエレベーターを整備
- ☛ 高齢者、障害者、妊産婦及び子ども連れの方等も階段や坂道を利用することなく楽に移動できる環境を整える

事業概要

- ▷ 「北区バリアフリー基本構想【地区別構想 滝野川地区】（平成 30 年 3 月）」に基づき、田端駅北口周辺と高台側との高低差によるバリアを解消するため、エレベーターを整備し、移動の円滑化を図る。
- ▷ 整備概要
 - 位置
北区田端 1 丁目 21 番地先（田端駅前公衆トイレ脇）
 - エレベーター整備
15 人乗りで、周辺建物と調和したデザインとする。また、防犯面に配慮して、周囲からエレベーター内の見通しを確保していく。
- ▷ 今後の予定
 - 令和 6 年度 高台通路等整備工事（令和 6 年度～7 年度）
 - 令和 7 年度 エレベーター供用開始、都道復旧工事等

【イメージパース】



【担当】

土木政策課長

電話 03-3908-9238

赤羽駅周辺のまちづくり

事業名	予算額
(1) 赤羽一丁目市街地再開発促進事業	(1) 388,174千円
(2) 赤羽駅周辺まちづくり推進	(2) 25,601千円

ここがポイント！

赤羽駅周辺のまちづくりを推進するため、赤羽駅東口における組合施行の市街地再開発事業を契機とした周辺まちづくりや、赤羽台団地の建替えに合わせた周辺地区の公共施設の整備や住環境の向上を図っている

(1) 赤羽一丁目市街地再開発促進事業

- ▶ 先行する第一地区は、令和5年度内に組合設立認可が予定されている
- ▶ 第二地区及び第三地区は、事業化にむけ、両地区の連携による一体的なまちづくりの検討が進められている

(2) 赤羽駅周辺まちづくり推進

- ▶ 市街地再開発事業により、大規模な土地利用転換が見込まれる赤羽駅周辺地区の望ましい土地利用を検討するため、令和5年度より「赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画」の策定に着手している
- ▶ 赤羽台周辺地区のゲートウェイ計画は、土地譲渡先事業者の設計進捗状況等に応じて必要な検討を実施するとともに、UR都市機構の団地再生事業等とも足並みを合わせ、地域コミュニティ活性化に向けた取組みを順次実施している

事業概要

(1) 赤羽一丁目市街地再開発促進事業

- ▶ 赤羽一丁目第一地区では、令和5年度に再開発組合の設立認可が予定されており、区では事業の支援として、建築実施設計や権利変換計画作成等に対する費用を補助する。



第一地区の施設建築物の外観（意匠）（パースは準備組合の提供）

6-4 100年先を見据えたまちづくり！

(2) 赤羽駅周辺まちづくり推進

- ▷ 赤羽駅周辺地区の望ましい土地利用や施設整備の方向性等をまとめる「赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画」を策定する。令和6年度は、これまでの検討内容を「中間報告」としてまとめながら、年度末までには、同地区周辺の広域的なまちづくりの視点からの検討を深め、将来のまちづくりの方向性をまとめる。
- ▷ 赤羽台周辺地区まちづくりについては、赤羽台ゲートウェイ計画（※）に基づく東側道路擁壁補強対策工事の実施をはじめ、計画全体の進捗管理を行う。また、昨年度に引き続き、地区周辺の新たな魅力を内外に発信するためUR都市機構と共同で、イベントを実施し、コミュニティの形成支援を図る。



ボン ボン フェスタ アカバネダイ
令和5年度イベント「bon×bon FESTA AKABANEDAI」開催の様子

※ 赤羽台ゲートウェイ計画

北区とUR都市機構は、赤羽台団地（現ヌーヴェル赤羽台）の建て替え事業を契機に、全国初の試みとして、周辺地区のまちづくり課題を解決しながら一層魅力あるまちづくりを推進するため、双方が保有する土地を一体活用する譲渡先民間事業者を共同で募集し、「赤羽台周辺地区のゲートウェイとして多様な人々が集い・行き交い・にぎわう都市生活拠点の形成」の実現に向け、土地譲受事業者と共に取組みを進めている。

【担当】

まちづくり推進課長

電話 03-3908-9154

十条駅周辺のまちづくり

事業名	予算額
(1) 十条駅西口地区第一種市街地再開発事業	(1) 6,409,788千円
(2) 十条駅付近連続立体交差事業等	(2) 504,193千円

ここがポイント！

(1) 十条駅西口地区第一種市街地再開発事業

- ☛ 再開発組合の事業を支援するため、施設建築物の共同施設整備費などの一部を補助するとともに、駅前広場などの公共施設を整備するための費用を負担
- ☛ 再開発ビルの低層棟3・4階部分に十条らしさをキーワードに多世代の交流を促し、駅前の新たなにぎわいを創出する施設（ジェイトエル）を整備

(2) 十条駅付近連続立体交差事業等

- ☛ 十条駅を中心とした約1.5kmの区間について鉄道を高架化し、道路と鉄道を連続的に立体交差化することで、6か所の踏切を除却

事業概要

(1) 十条駅西口地区第一種市街地再開発事業

- ▷ 十条駅西口は、「にぎわいの拠点」のシンボルとなる高層タワー型の施設建築物を民間活力により建設するとともに、駅前広場や道路等の整備を、令和7年度に完了する。
- ▷ 商業・業務機能や災害時の活動拠点の機能も備え、幅広い世代が共に暮らせる都市型住宅の整備を誘導する。



A 高層タワー型施設建築物イメージ



各施設の配置イメージ



B 駅前広場イメージ

6-5 100年先を見据えたまちづくり！

▷ にぎわいを創出する施設（ジェイトエル）の概要（令和6年12月オープン予定）

<3階>

- 「ラウンジ」の整備
図書を約1万冊配架し、閲覧しながらの飲食が可能
- 「クリエイティブルーム」の整備
3Dプリンターなどの各種工作機器を配置し、これを用いた創作活動が可能



3階イメージ

<4階>

- 「ホール」の整備（定員約160名）
- 「多目的ルーム」及び「音楽・動画編集室」の整備

(2) 十条駅付近連続立体交差事業等

- ▷ 踏切での交通渋滞の解消、道路と鉄道それぞれの安全性の向上、鉄道により分断されていた地域の一体化を図る。
- ▷ 鉄道付属街路（側道）の整備を併せて推進することで、安全で快適なまちづくりを実現する。
- ▷ 令和6年度は、連続立体交差事業に要する費用の一部を負担する。また、鉄道付属街路（側道）の用地取得等を進める。

【連続立体交差事業等の概略図】



【(1) 再開発事業の担当】

まちづくり推進課長
電話 03-3908-9154

【(1) ジェイトエル整備の担当】

大規模区民施設整備担当課長
電話 03-5390-1116

【(2) の担当】

土木政策課長
電話 03-3908-9238
事業用地担当課長
電話 03-3908-9254

新規事業

地域資源を活かしたまちづくり

事業名	予算額
地域資源を活かしたまちづくり	23,467千円

ここがポイント！

- ☛ 水辺を活かして地域のにぎわい創出を目指すため、「(仮称)北区かわまちづくり計画」を策定
- ☛ 多様な主体との連携により地域特性に応じた魅力あるまちづくりを推進するため、エリア一帯のまちづくり(エリアデザイン)の進め方を示すガイドラインを作成

事業概要

- ▷ 地域が持つ資源を活かし、地域活性化や観光振興などを目的に、河川空間を活かして地域のにぎわい創出を目指すため、荒川流域を中心とした「(仮称)北区かわまちづくり計画」を策定する。
- ▷ 計画策定にあたり、ハードとソフトの両面から水辺の利活用方策や計画の運営体制等を検討するため、「(仮称)北区かわまちづくり協議会」を設立する。
- ▷ 地域特性に応じた魅力あるまちづくりにおいては、エリアの中核となりうる大規模公共公益施設の整備・更新、土地利用転換等の機会を捉えたエリア一帯のまちづくり(エリアデザイン)を全庁的に推進するため、その進め方を示す「(仮称)エリアデザイン導入ガイドライン」をまとめる。
- ▷ あわせて、まちづくりファンドの組成支援や都市再生推進法人(※)制度の導入に取り組む。



- ※ 都市再生推進法人
都市再生特別措置法に基づき、地域のまちづくりを担う法人として、市町村が指定するもの。市町村は、まちづくりの新たな担い手として行政の補完的機能を担うる団体を指定できる。

【担当】

まちづくり推進課長

電話 03-3908-9154

【新】・・・新規事業

魅力ある公園等の整備

事業名	予算額
(1) (仮称) 新神谷公園実施設計	(1) 9,481千円
(2) 公園等遊具改修 【新】	(2) 52,164千円
(3) クリーントイレプロジェクトの推進 【新】	(3) 78,777千円
(4) ドッグラン施設整備 【新】	(4) 21,952千円

ここがポイント！

- (1) (仮称) 新神谷公園実施設計
- ☛ 令和5年度の基本設計にて行ったワークショップを通じて、地域住民と協働で作成したゾーニング・施設配置案を基に実施設計
- (2) 公園等遊具改修
- ☛ 子どもたちが楽しいと思える遊具への更新
 - ☛ 古い遊具もリニューアルの工夫で安心して長く親しめる公園・児童遊園に
- (3) クリーントイレプロジェクトの推進
- ☛ 公園・児童遊園のトイレを計画的に改修
 - ☛ 地元企業等のトイレ美化活動への参画を推進
- (4) ドッグラン施設整備
- ☛ 荒川河川敷の魅力を向上させるための活用に取り組む
 - ☛ 北区立公園内では初となるドッグランを荒川河川敷に整備

事業概要

(1) (仮称) 新神谷公園実施設計

▷ 目的

都の北学園の新築に伴い、公園の配置や形状を変更し、周辺道路から公園へのアクセスの向上、都の北学園との一体的運用により、公園の利便性や防災機能の向上を図るため、都市計画公園の整備を行う。

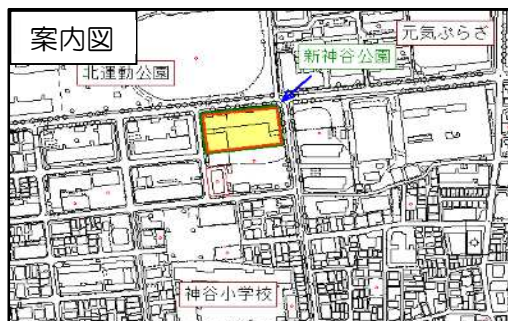
▷ 整備概要

所在地 : 神谷2丁目地内
面積 : 約4,000㎡

6-7 100年先を見据えたまちづくり！

▷ 今後の予定

令和6年度	実施設計
令和7～8年度	公園整備工事
令和9年度	公園台帳作成



(2) 公園等遊具改修

- ▷ 子どもたちが楽しいと思える遊具への更新を進める。
 - 複合遊具やすべり台などの遊具の改修を進める。
 - 幼児向け遊具を配置し小さな子どもも楽しめる児童遊園づくりを進める。
- ▷ 古い遊具もリニューアルの工夫で安心して長く親しめる公園・児童遊園にする。
 - 特徴があり人気のある遊具は塗装を塗り替え、思い出に残る公園にする。
 - マットの整備、砂場の動物除け柵の設置で安心して遊べる遊具に改修する。

上中里三丁目児童遊園



王子六丁目児童遊園

(3) クリーントイレプロジェクトの推進

- ▷ 公園・児童遊園のトイレを計画的に改修。
 - 老朽化したトイレの建替えを進め、洋式便器化及びバリアフリー化を行い清潔、快適に利用が出来るよう整備する。
 - トイレ改修と遊具改修を同時に行い、公園等の魅力向上を進める。
- ▷ 地元企業等のトイレ美化活動への参画を推進。
 - 地元企業等がボランティアによるトイレ美化活動を行うことに対し、区は連携と支援を行う制度を整える。

(4) ドッグラン施設整備

- ▷ 区民からの要望が多かったドッグランの整備予定を大幅に前倒し。
- ▷ 整備場所は荒川河川敷の緑地公園内を予定。河川敷では、出水期（6月から10月の間）に工事が出来ないため、整備時期は第4四半期になる予定。
- ▷ 区民によるドッグランの自主運営が出来るように、区民と協働した利用ルールの検討を行う。



DOG RUN



【(1) の担当】

土木政策課長

電話 03-3908-9238

【(2) ~ (4) の担当】

道路公園課長

電話 03-3908-9213

【新】・・・新規事業

区内交通環境の整備

事業名	予算額
(1) コミュニティバス（浮間地域ルート） 運行支援	(1) 79,210千円
(2) デマンド型交通の実証実験【新】	(2) 22,031千円
(3) 王子駅・上中里駅自転車駐車場整備【新】	(3) 65,364千円

ここがポイント！

- (1) コミュニティバス（浮間地域ルート）運行支援
- 👍 王子・駒込、田端循環に続く区内3ルート目の本格運行を目指すとともに、「北区ゼロカーボンシティ宣言」を踏まえた取組みとして、EVバスを導入
- (2) デマンド型交通の実証実験
- 👍 公共交通機能向上の必要性を踏まえ、バス通行が困難な箇所での効果を検証
- (3) 王子駅・上中里駅自転車駐車場整備
- 👍 放置自転車の多い王子駅周辺の自転車駐車場環境を改善するため、王子駅南口自転車駐車場の設備更新を行い、子乗せ自転車なども利用しやすい自転車駐車場にリニューアル
 - 👍 上中里駅前に初の当日・一時利用が可能なコイン式自転車駐車場を整備

事業概要

(1) コミュニティバス（浮間地域ルート）運行支援

- ▷ 令和6年3月に試験運行を開始するコミュニティバス（浮間地域ルート）の運行管理及び協定に基づく欠損金の補填を行う。
- ▷ 利用実態調査及び利用促進策を実施し、運行収支率の向上を図る。



(2) デマンド型交通の実証実験

- ▷ 社会・経済の情勢や地域の動向を踏まえ、より適切な交通手段について検証する。
- ▷ 公共交通機能向上が必要な面積が多い「赤羽西地域」「王子東地域」において検討を進め、いずれか1つのエリアでデマンド型交通の実証実験を実施する。



(3) 王子駅・上中里駅自転車駐車場整備

- ▷ 王子駅南口自転車駐車場更新
現在設置している二段式ラックを撤去し、
 - ①最新式の二段式ラックへの更新、
 - ②コイン式自転車駐車場の新設、
 - ③子乗せ自転車など大型化する自転車に対応可能なスペースを拡大する。

改修前自転車駐車場ラック



改修後自転車駐車場イメージ



- ▷ 上中里駅前自転車駐車場設置
現在、暫定的に設置している指定自転車置場の一部を、コイン式自転車駐車場として整備し、当日・一時利用が可能な施設にする。

自転車駐車場ラック・精算機のイメージ



【(1) 及び (2) の担当】
交通事業担当課長
電話 03-3908-9216

【(3) の担当】
土木管理課長
電話 03-3908-9220

【新】・・・新規事業

地域活性化の推進

事業名	予算額
(1) 町会・自治会ポータルサイトの作成 ・維持管理 【新】	(1) ~ (3) 合計 21,647千円
(2) 町会・自治会 Wi-Fi 環境整備等への支援 【新】	
(3) 町会・自治会デジタル化への支援	
(4) (仮称) 桐ヶ丘区民センターの整備 【新】	(4) 76,383千円

ここがポイント！

- (1) 町会・自治会ポータルサイトの作成・維持管理
- ☛ マップや住所から、区内の町会・自治会を検索でき、申込フォームから町会・自治会への加入申込ができるサイトを導入
- (2) 町会・自治会 Wi-Fi 環境整備等への支援
- ☛ コミュニティ活動のデジタル化に取り組む町会・自治会へ年間3万円まで補助(5年間を限度)
 - ☛ 環境整備の初期経費(イニシャルコスト)のみならず、維持管理経費(ランニングコスト)も対象
- (3) 町会・自治会デジタル化への支援
- ☛ 支援する町会・自治会数を、令和5年度の20団体から30団体に拡充
- (4) (仮称) 桐ヶ丘区民センターの整備
- ☛ 令和10年度の開設に向けて、基本設計及び実施設計に着手
 - ☛ 周辺区有施設の複合化を図り、交流スペース等を含めた区民センターを整備

事業概要

(1) 町会・自治会ポータルサイトの作成・維持管理

- ▷ 若年層・ファミリー層の町会・自治会への加入促進を目的に、北区に転入された方などがお住まいの地域の町会・自治会を検索でき、加入申込をWEBから行うことができるポータルサイトを立ち上げる。
- ▷ 地域情報の発信強化をめざし、町会・自治会活動、北区町会自治会連合会の紹介、北区町会自治会連合会公式LINE、各町会・自治会の独自SNS(公式LINE、X(旧Twitter)、Instagramなど)のリンク先等をわかりやすく掲載する。

6-9 100年先を見据えたまちづくり！

(2) 町会・自治会 Wi-Fi 環境整備等への支援

- ▷ Wi-Fi 環境の整備・維持管理経費、町会・自治会公式 LINE の運用経費等、コミュニティ活動のデジタル化に取り組む町会・自治会へ、5 年間で限度に年間 3 万円まで補助する。

(3) 町会・自治会デジタル化への支援

- ▷ 町会・自治会に ICT の専門的な知識を有するアドバイザーを派遣し、地域のデジタル化に関する講習会（1 団体あたり全 4 回程度（1 回約 90 分））を実施する。

(4) (仮称) 桐ヶ丘区民センターの整備

▷ 整備内容

高齢者や子育て世代など幅広い世代が気軽に利用できる機能等、地域の拠点となり、住民が集いにぎわう魅力ある区民センターを整備する。

- 図書館、ふれあい館、地域振興室、授産場を区民センターに機能集約し施設の複合化を図る。
- BCP 対応、DX への対応、バリアフリー、環境対応などに留意する。

- ▷ 東京都と「都営桐ヶ丘団地第 6 期建替事業に関する協定書」を締結
令和 5 年に協定書を締結。約 2,500 ㎡の敷地を
区が東京都から無償貸付を受ける。

東京都が誘導する隣接商業施設等と一体的な土地利用となるよう連携しやすい空間の創出を重視しながら、相互の交流が可能となる交流スペースの配置を検討する。



▷ 整備スケジュール（予定）

令和 6～7 年度	基本設計・実施設計
8～9 年度	建設工事
10 年度	開設

【(1)～(3) の担当】

地域振興課長

電話 03-5390-0091

【(4) の担当】

大規模区民施設整備担当課長

電話 03-5390-1116